

Japanese Congress for Infrastructure Management  
インフラメンテナンス国民会議  
北海道フォーラム



【平成30年度ファクトブック】





# I インフラメンテナンス国民会議設立の背景

## ○戦略的な維持管理・更新を行っていくための課題

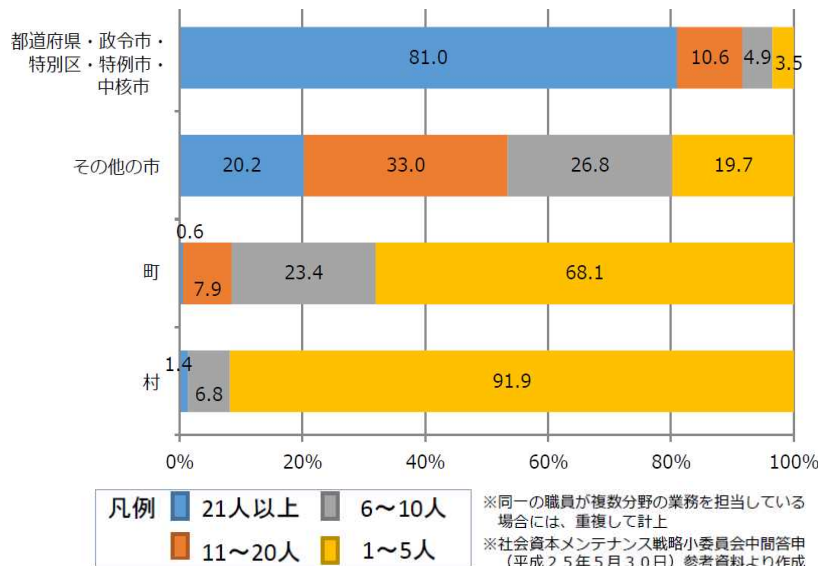
- ・ 厳しい財政状況における維持管理・更新に係る予算の確保
- ・ 保有量、老朽化度合い等の把握
- ・ 大部分の社会資本を管理している地方公共団体における職員の不足
- ・ 維持管理・更新を支える建設業等のメンテナンス産業の更なる活性化
- ・ 地域の担い手の確保

### ▼社会資本の維持管理・更新費の将来推計

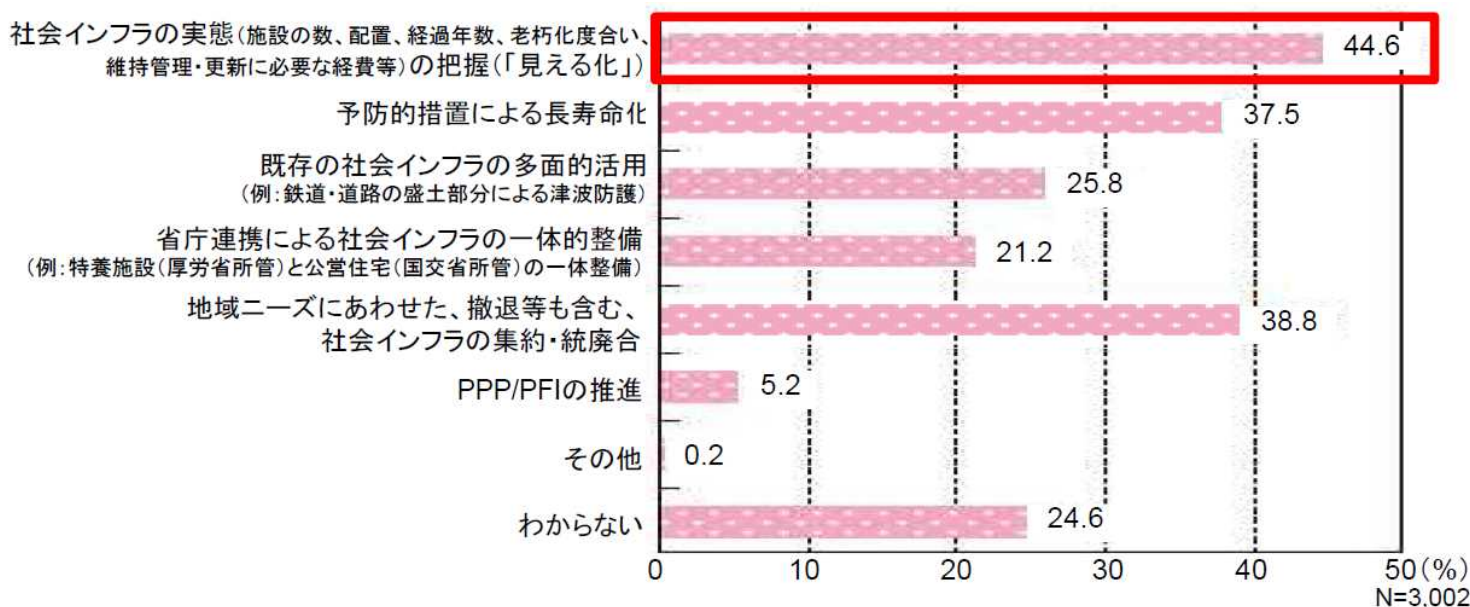
年度	維持管理・更新費(推計)
2013年度	約3.6兆円
2023年度	約4.3~5.1兆円
2033年度	約4.6~5.5兆円

(※出典:国土交通白書2015)

### ▼維持管理・更新を担当する職員数



### ▼国民意識調査の結果 (インターネットアンケート)

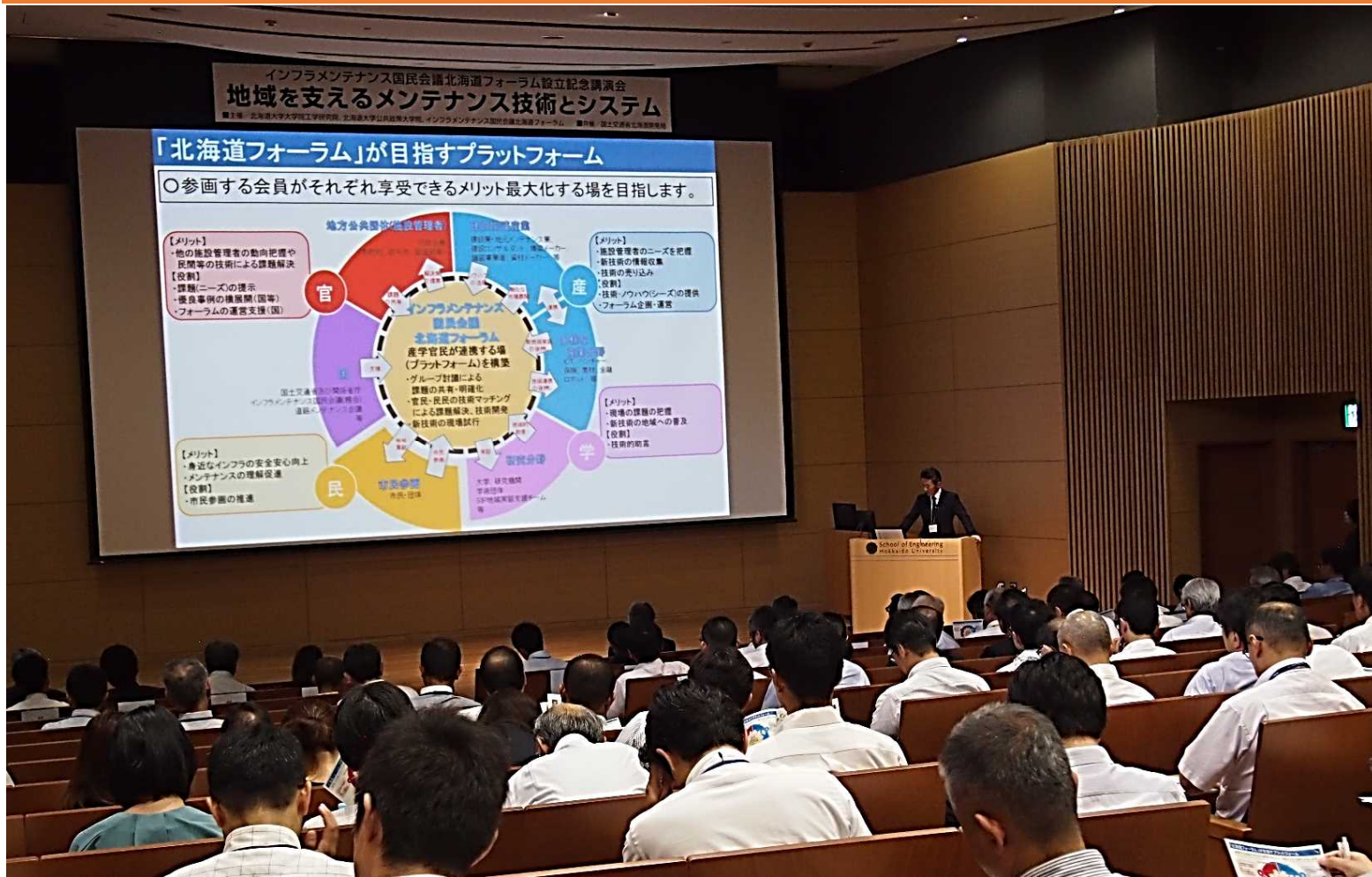


国土交通省「国民意識調査(インターネットアンケートH26.2)」より  
 出典:平成25年度国土交通白書

⇒政府は、社会全体として、この課題に取り組むプラットフォームの創出が必要と判断  
 国土交通省が主導し、国民会議設立へ



## Ⅱ 設立・組織体制



↑インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム設立記念講演会より  
(2018.8.22@北海道大学)

2018年3月27日に、インフラメンテナンス国民会議の地方フォーラムとして、正式に位置づけられ、「インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム」が設立された。

北海道フォーラムは、メンテナンス分野に関心のある23の企業・団体が参画し、北海道におけるインフラメンテナンスの課題解決の後押し等に取り組んでいる。

### 北海道フォーラム・リーダー



#### 北海道大学大学院工学研究院 横田 弘 教授

- ・このフォーラムで皆さんが連携して北海道のインフラの将来像を考えていきたい。
- ・インフラメンテナンスに関する北海道特有の課題の解決に向けた技術開発などに取り組みたいと考えている。

- 平成24年 7月25日 国土交通大臣から社会資本整備審議会会長及び交通政策審議会会長あて「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」の諮問
- 平成24年 7月31日 第9回社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会社会資本メンテナンス戦略小委員会の設置
- 平成24年12月 2日 中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故

## 平成25年 「社会資本メンテナンス元年」として位置付け

- 平成25年 1月30日 社会資本メンテナンス戦略小委員会緊急提言  
「本格的なメンテナンス時代に向けたインフラ政策の総合的な充実～キックオフ「メンテナンス政策元年」～」（大臣への手交）
- 平成25年10月 4日 インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議設置
- 平成26年 5月21日 社会資本の老朽化対策会議  
「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）」決定
- 平成27年 6月30日 「日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-」閣議決定  
インフラメンテナンス国民会議（仮称）の設立位置付け
- 平成28年 6月 2日 「日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-」閣議決定  
インフラメンテナンス国民会議（仮称）の設置位置付け

## 平成28年11月28日 インフラメンテナンス国民会議設立

- 平成29年10月 2日 北海道メンテナンスフォーラム（仮称）参画企業・団体公募
- 平成29年12月26日 北海道メンテナンスフォーラム（仮称）第1回準備会
- 平成30年 1月15日 北海道メンテナンスフォーラム（仮称）第2回準備会
- 平成30年 3月 2日 北海道メンテナンスフォーラム（仮称）発足会議（荒天のため中止）  
メール等で対応
- 平成30年 3月20日 インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム公認申請

## 平成30年 3月27日 インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム設立

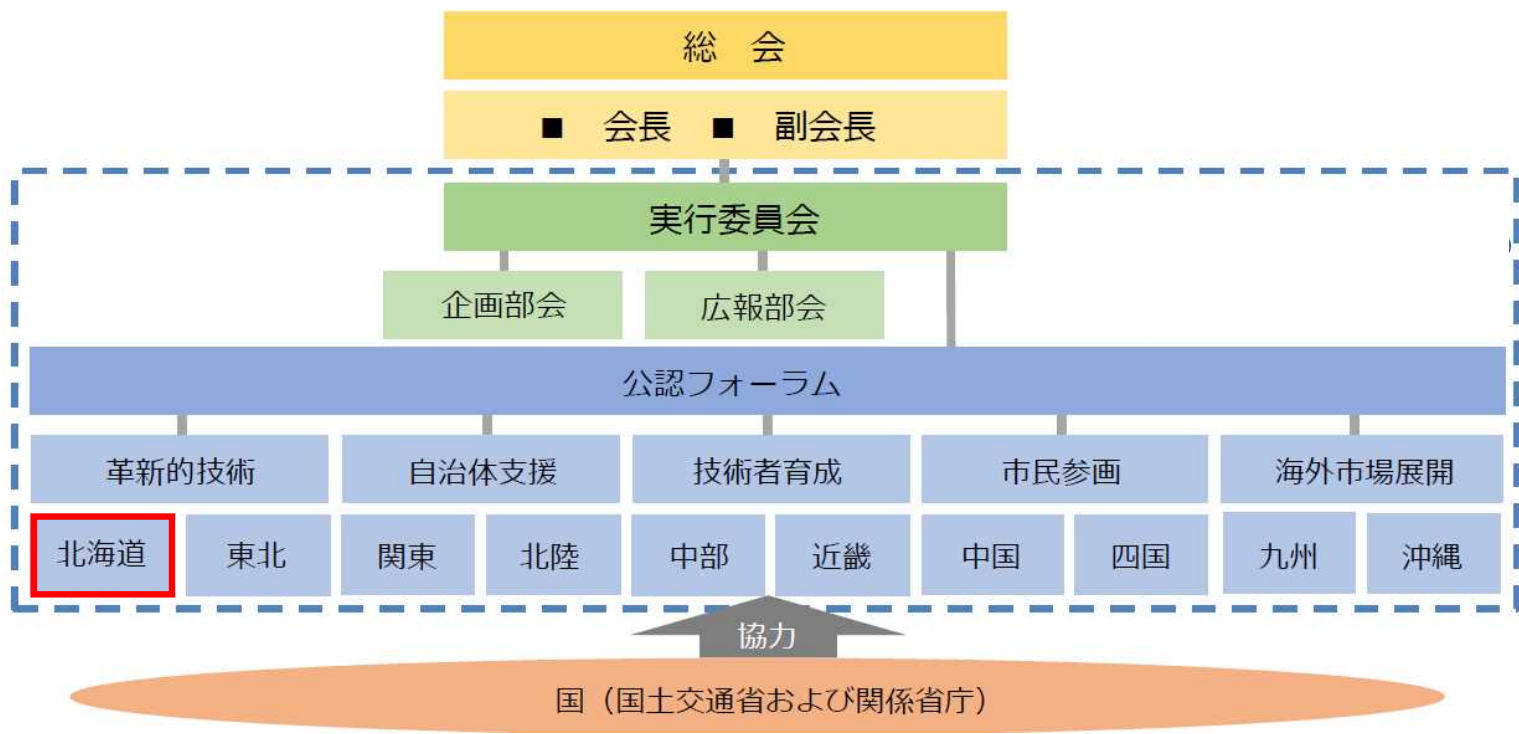


↑ 第1回準備会  
(2017.12.26@北海道開発局)

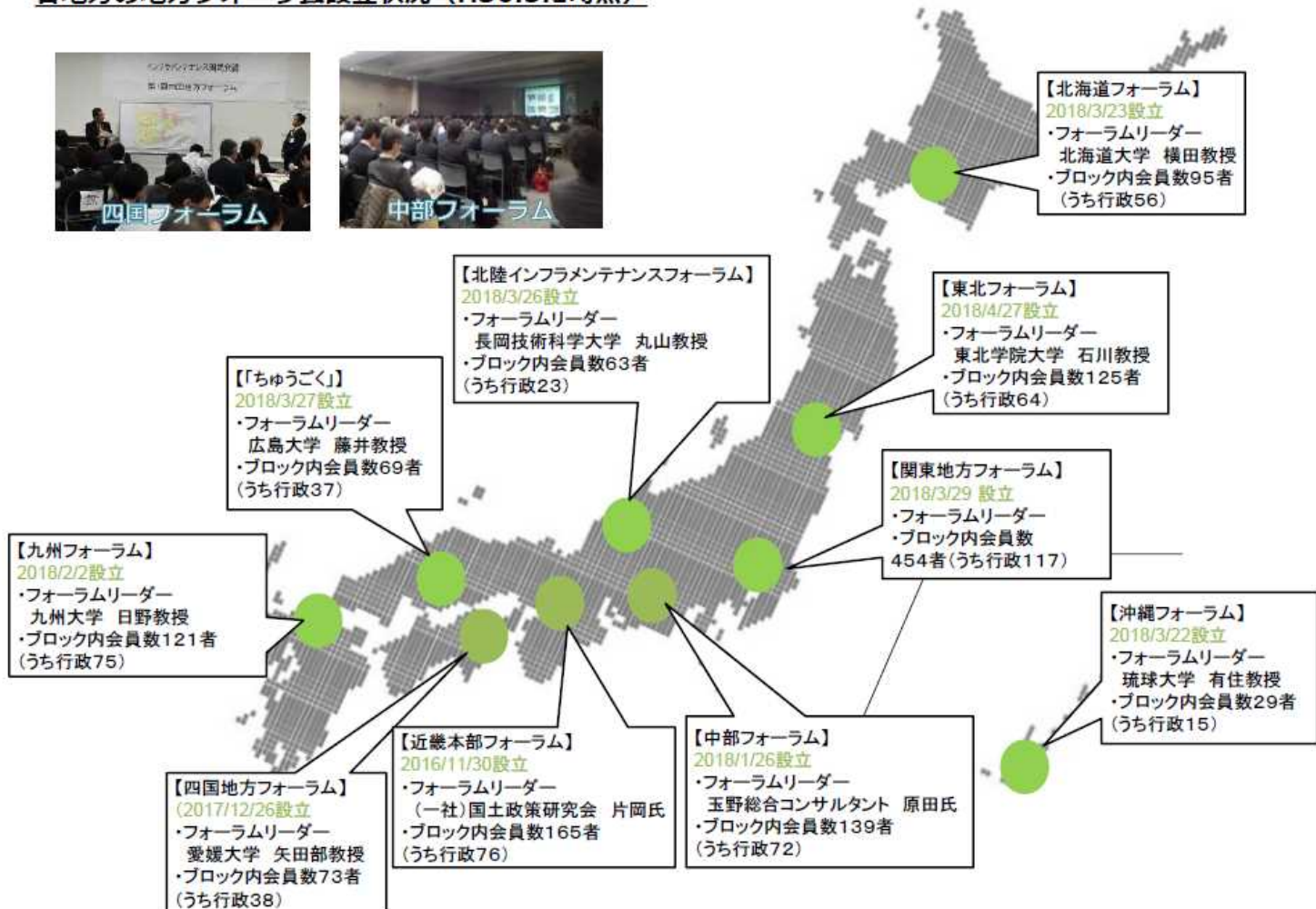


↑ 第2回準備会  
(2018.1.15@北海道開発局)





## 各地方の地方フォーラム設立状況 (H30.5.1時点)



# 北海道フォーラム 推進体制②

北海道フォーラムは、当面、フォーラムリーダー、企画委員長ほか、23の企業・団体が、それぞれ5つの分野と3つの担当に分かれて活動を推進。

全体の運営ルールの策定や活動方針、具体のイベント企画などを検討。

- フォーラムリーダー 北海道大学大学院工学研究院 横田 弘 教授
- 企画委員長 (一社)北海道建設業協会 栗田 悟 副会長

		総括	分野グループ				
			①道路 構造物	②その他 構造物	③舗装	④公共施 設・住宅	⑤自治体 支援
担当グループ	企画担当	(株)ドーコン	(株)構研エンジ ニアリング	(株)南組	ニチレキ(株)	積水ハウ ス(株)	NPO法人公 共環境研究 機構
	自治体担当	(株)北海道技 術コンサル タント	コンクリー ト・鋼構造物 超耐久化工法 研究会	勇建設(株)	(株)土木技術 コンサル タント	北電総合 設計(株)	西松建設(株)
			(株)ダイヤコン サルタント	(株)ノース技研	西江建設(株)	(株)開発工 営社	
企業担当	岩田地崎建 設(株)	(株)中山組	(株)エスイー シー	伊藤組土建 (株)	サンエス ホール ディング スグル ープ	(株)ティ ー ネット ジャ パン	

## 北海道フォーラム代表者会議

### 【決定事項】

- フォーラム全体の活動方針や運営に関すること
  - ・周知活動方法・活動計画・活動報告など

### 【組織体制】

- ・フォーラムリーダー、企画委員長 総括担当委員、企画担当委員

## 総括担当・企画担当会議

### 【決定事項】

- フォーラム企画（開催スケジュール、テーマ設定） ■記録 ■広報（案）

### 【組織体制】

- ・総括担当委員、企画担当委員

## グループ会議

### 【打ち合わせ事項】

- ニーズ、シーズを踏まえた具体的な活動内容の検討
- 新たなニーズ、シーズ発掘の必要性検討

①道路構造物 ②その他構造物 ③舗装 ④施設・住宅 ⑤自治体支援

- ### 【組織体制】
- ・各企画委員・各委員

## インフラメンテナンス国民会議の目的

- ・ 革新的技術の発掘と社会実装
- ・ 企業等の連携の促進
- ・ 地方自治体への支援
- ・ インフラメンテナンスの理念の普及
- ・ インフラメンテナンスへの市民参画の推進

## 北海道フォーラムが目指す姿

～産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォーム～